

# Syllabus

第3回 第4回

## ● 第3回、第4回講座概要

参加者が具体的なレベルアップを体感できるよう、実際の自施設利用者に対してアセスメントやモニタリングを行う課題を行ってくる。課題を基に、講義内にてゼミ形式の反復学習を行い、リフレクションとフィードバックの積み重ねで実践力を高める。高められたアセスメント情報を基に、機能訓練計画の策定からプログラムの考案も行い、プログラムありきの従前のケアから、アセスメントに基づいた適切な自立支援ケアの実践を目指す。

### 第3回 自立支援型アセスメントとモニタリングの演習、能力向上ゼミナール

コース	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	時間
日曜	2/19	2/15	2/21	2/14	2/20	2/13			10:30 18:00

時間	講座No.	講座名	講座内容
10:30~ 14:30	3-1 3-2	アセスメントの発表とリフレクション	出席者の受講成果にもっとも結びつく本講義では、実際の受講者施設の利用者に対してアセスメントを行ってこられたため、受講前と後の成果が実感できる瞬間となる。スーパーバイザーや他の受講者からのリフレクション&フィードバックは受講者の思考や視点を広げ、より適切なアセスメント能力が磨き上げられる。また、スーパーバイザーからの指導は、受講者の施設スタッフがアセスメントを行う際に、コーチングの在り方の参考になる。
14:45~ 18:00	3-3 3-4	機能訓練加算II、リハマネ加算における機能訓練指導員の役割と視点、多職種連携	通所における自立支援ケアは多職種連携で行う。その際の機能訓練指導員の役割や視点、活動と参加レベルの目標設定、多職種とのかかわり方などを学習する。プラットフォームでの個別訓練(マンツーマン)後利用者、グループ訓練のなかで個別に対応する手法(目的別グループワーク)を制度的裏付けに基づきながら自立支援ケアの機能訓練について学習する。

### 第4回 自立支援ケアの機能訓練の在り方学習と社会資源の活用と応用

コース	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	時間
日曜	2/20	2/16	2/22	2/15	2/21	2/14			9:00 16:00

時間	講座No.	講座名	講座内容
9:00~ 10:30	4-1	目的別グループワーク (GW) の作り方 (機能訓練加算II等対応策)	アセスメント実践を基盤とした、朝田から取り始める活動と参加の機能訓練、目的別グループワークの方法等を学習する。特に個別機能訓練加算IIへの十分な対応となる。また、通所リハビリテーションでの3か月以上の集約リハビリ導入にも効果があり、効率性、生産性の向上等に貢献する重要なアプローチ方法である。
10:45~ 12:15	4-2	目的別GW 演習 (機能訓練加算II等の実践訓練)	実際に受講者施設で実践できるよう、実習形式にて目的別グループワークを自ら取り出す訓練を行う。通所介護及び通所リハビリにて、機能訓練指導員がグループで訓練をマネジメントできるようになる。また、本訓練は単なる集約訓練ではなく、利用者の目標達成のための要素を多職種でディスカッションした上で抽出し、その達成に向けて各要素への対策をグループでアプローチする方法として学習する。機能訓練指導員の専業化によるタコソウ化対策(多職種と連携せず、機能訓練指導員だけが視野狭窄的に訓練を行う)にも役立つ。
13:00~ 14:30	4-3	モニタリングとPDCA、姿勢と方法	訓練の成果、目標や計画の進捗から適切なPDCAサイクルとモニタリング技術にある。またモニタリングを通じて利用者への動機付け等にも結びつけるための手法等を学習する。有益なモニタリングからより適切な支援へと結びつく。またモニタリング報告等を通じ、ケアマネジャーの理解や共感を得る方法も学習する。
14:45~ 16:00	4-4	施設内の資源を活用した自立支援ケアの取組み (デイサービスの実践事例)	施設内における様々な資源を活用し、利用者が活躍し、施設を活性化させる方法について、実践事例より学習する。学習にあたっては動画や画像等の資料を多用し、受講後に受講者が自施設にて伝えやすいよう配慮された構成となっている。

#### ☑ 第3回、第4回受講後の宿題

- 目的別GWを実際に施設で取り組んで報告する。
  - モニタリングを行ってくる (受講者施設様式)
  - 施設内での自立支援の取組を企画し、実践してくる。(PPTにて報告)
- ※以上を受講者専用クラウドで共有し、スーパーバイザー及び参加者相互にリフレクション&フィードバックを行う

# Syllabus

第5回 第6回

## ● 第5回、第6回講座概要

アセスメント、モニタリング、計画策定、訓練プログラムの考案、アウトカム測定といった通所ケアに求められるPDCAを、より高度な自立支援型へと発展を目指す。また、自施設のプログラムにおいて自立支援に結びつかない要素を洗い出すなど課題を整理し、改革計画につながる骨子立案を行う。

### 第5回 PDCA能力向上ゼミナール

コース	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	時間
日曜	2/19	2/19	2/18	2/19	2/17	2/18			10:30 18:00

時間	講座No.	講座名	講座内容
10:30~ 14:30	5-1 5-2	目的別GW&モニタリング、自立支援の取組発表とリフレクション	各自が実践してきた目的別GW・モニタリング・自立支援の取組発表を行う。スーパーバイザーや他の受講者の指摘はより磨き取り組みに貢献する。また、気づきの視点や改革の方法等の学習に結びつく。
14:45~ 16:15	5-3	卒業へと導く地域との連携、社会資源の開発と活用	通所施設内で完結してはならない、地域の様々な資源を活用し、いかに通所の利用を最小限にし、最大限の効果を見出すか、利用回数制限のうらみもある中、この思考こそが将来にわたり、制度改正の影響を最小限に留める鍵となる。例えばカラオケに興味関心がある利用者、通所施設でわざわざ高コストを要して設備を用意するのではなく、通えるカラオケスタックを見つけて出し、スタッフの協力を得ながらそこに誘い続けられるように訓練や環境調整を施す。圖書印帳等も取り、どのような資源を見つけ、活用するかを各種事例を交えて学習する。
16:30~ 18:00	5-4	自立支援チーム形成のためのリーダーシップ	受講者だけが理解し努力しても、施設の同僚たちも実践してくれなければ改革は進まない。特に研修型がしきり込んだ習慣を切り替えるのは容易なことではない。本講座では自立支援ケアに喜びを見出せるよう、リーダーはメンバーにどのように働きかけを行えばよいか、リーダーシップの在り方について学習する。

### 第6回 自立支援型通所ケア改革メソッド

コース	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	時間
日曜	2/20	2/20	2/19	2/20	2/18	2/19			9:00 16:00

時間	講座No.	講座名	講座内容
9:00~ 10:30	6-1	改革に向けたチームの合意形成と計画策定	改革に向けてのチームメイトとの合意形成手法、改革に向けた計画策定等の在り方について事例や理論を用いて講義する。
10:45~ 14:30	6-2 6-3	サービス提供方針の策定と改革計画	スタッフたちが自立支援の行動に結びつけるために、事業所のサービス提供方針の見直しは欠かせない。全受講者は、ワーク形式にて新たなサービス提供方針を行うプロセスを学習し、受講者自施設でのサービス提供方針策定の手法を身に付ける。
14:40~ 16:00	6-4	最終講義 修了証授与	自立支援ケア実践者として最後に施設改革のフレームワークを実践事例とともに学習する。学習で使用したフレームワークは受講者施設の改革ポイントの整理に活用可能。学習後、最終フィードバックを行い、本講座修了証が授与される。

